

北中だより 3月号

自主・自律・自己実現

茨木市立北中学校

北中学校がめざす生徒像

豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒

今年度もあと少しです。

朝夕の寒さがまだまだ続きますが、日中の日差しにぬくもりを感じる日も多くなってきました。年末の冬休みには5時前だった日没が、最近では5時半を過ぎても明るく、春が近づいてきたことを実感できるようになりました。三年生の多くは、公立高校特別選抜試験や私立高校の受験が終わり、3月11日の公立高校一般選抜試験に向けて頑張っています。進路の開拓に向けてこの一年間、決して楽ではない生活を過ごしてきたことでしょうか。いろいろなことを我慢し、悩み、迷う中で努力を重ねてきたと思います。進路の決定は人生の大きな関門のひとつと言ってもいいでしょう。それを乗り越えることで、心身ともに大きく成長し、たくましくなるのです。もちろん、過去の先輩たちもみんな経験し、このハードルを乗り越えてきました。第一希望の進路先に希望どおり進む人もいればそうでない人もいます。しかし、決まった進路先で最善を尽くすことが大切です。今回の進路決定がゴールではありません。大切なのは、今後をどう過ごすかです。それぞれの進路先で新たな目標を持ち、充実した生活を送ることを願っています。

心の壺

“心の壺”という言葉を知っていますか？ 例えば、笑いのツボとかマッサージのツボ、他にも感動するツボ、このように日常でも“～のツボ”という言葉がたくさんありますね。聞くところによると、どうやら“ツボ”というのは、人間のからだに必要な栄養素や血液が流れる管の分岐点のことを指す医学用語が語源のようです。日本ではそれが、“ツボ(壺)”と表現されているらしいです。



その“ツボ(壺)”は、心の中にもあります。心の中に壺があることを頭でイメージしてみてください。どんな形をしていて、どんな色で、どんな大きさですか？そして、その壺の中に自分が入ってみて、探索してみたとしたら・・・、何があって、何が見えてくるのでしょうか？

人の“心の壺”は、そんなに広大ではありません。また、そんなに頑丈なものでもありません。人が持つ“心の壺”は、案外簡単に外からの衝撃によって傷がついたり、ヒビが入ったり、時にはほんの少しの衝撃で簡単に割れてしまうこともあるようです。あるいは、壺の中に溜まっているその人が大切にしているものが、あふれ出てしまうこともあるようです。

クラスメイト、部活仲間、家族など、周りの人の“心の壺”、大切にしていますか？ “心の壺”が傷ついたままでしんどい思いをせず、家族や学校の先生、友達、周囲の信頼できる人、にそのことを話してみましょう。

今のクラスで過ごすのも、あとすこしですね。それぞれの心のタイプを活用し、心のツボを大切に、思い出深い今年度の締めくくりにしましょう。



北中学校のホームページが多くの方にご覧いただいています。(学校日記では日々の学校の様子を毎日更新しお届けしています。)

<http://www.educ.city.ibaraki.osaka.jp/cms/jh08/htdocs/>



茨木市立北中学校

自主・自律・自己実現

〒567-0007 茨木市南安威三丁目10番3号
tel 072-643-9191 fax 072-641-3922



トップページ

北中の教育

学校だより等

北中の生徒会

クラブ活動

北中の生徒心得

事務室より